



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月13日

上場会社名 株式会社Branding Engineer 上場取引所 東
 コード番号 7352 URL http://b-engineer.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)河端 保志
 問合せ先責任者 (役職名)取締役CFO (氏名)谷邊 紘史 (TEL)03(6416)0057
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の業績（2020年9月1日～2020年11月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	909	—	42	—	41	—	24	—
2020年8月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	4.72	4.60
2020年8月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2020年3月6日付で、普通株式1株につき40株の株式分割を行っておりますが、2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。
2. 当社は、2020年8月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年8月期第1四半期の数値及び2021年8月期第1四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	1,151	527	45.6
2020年8月期	1,137	503	44.0

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 524百万円 2020年8月期 500百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,576	15.0	68	△32.9	70	△39.8	48	△39.3	9.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期1Q	5,173,400株	2020年8月期	5,173,400株
② 期末自己株式数	2021年8月期1Q	—株	2020年8月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期1Q	5,173,400株	2020年8月期1Q	—株

（注）2020年3月6日付で、普通株式1株につき40株の株式分割を行っております。2020年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	7
3. その他	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大による影響が長期化しており、依然として多くの産業において経済活動の縮小・停滞などの厳しい状況が継続しております。

このような経済状況のもと、国内の人材市場については新型コロナウイルス感染拡大後に有効求人倍率が急速に低下しましたが、先行きは依然として不透明な状況にあります。その一方で当社の事業領域と関連の高いIT市場におきましては、デジタルトランスフォーメーションへの投資案件も増加基調は続いており、ITエンジニアに対する企業の採用意欲は依然として高い水準にあると考えており、デジタルシフトを進める企業にITエンジニアを提供する当社の役割は、より重要なものになると認識しております。

このような事業環境下におきまして、当社は企業のデジタル化を推進すべく、企業に対しITエンジニアリソースの提供を行うとともに、社員へのデジタル教育を行いたいというニーズに応えるために、ITエンジニアの独立支援を行うMidworks事業、プログラミング学習サービスであるtech boost事業の拡大に注力いたしました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高909,107千円、営業利益42,309千円、経常利益41,644千円、四半期純利益24,420千円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

① Midworks事業

ITエンジニアに対する企業の採用意欲が高い水準で推移する中、Midworks事業では、新規取引先の獲得に注力するとともに、既存取引先についても関係を維持しつつ、広告から獲得したエンジニアのスキルに適した案件獲得に注力することで、企業に対し的確なITエンジニアリソースの提供を行う等、稼働エンジニア数の増加に努めました。

この結果、本報告セグメントの売上高は698,679千円、セグメント利益は70,652千円となりました。

② メディア事業

複数の情報発信メディアを運営するメディア事業では、広告収入の基礎となるPV（ページビュー）数を増加させるためにサイト評価を上げる施策について継続し、閲覧者数の増加に注力するとともに、他社メディアの新規立上げやメディア運営の受託等のマーケティングコンサルティングを行うBtoBサービス「SAKAKU」の販促に努めました。

この結果、本報告セグメントの売上高は73,998千円、セグメント利益は24,326千円となりました。

③ tech boost事業

tech boost事業では、ITエンジニアを目指す人を対象としたプログラミング教育を提供しております。当第1四半期においては、イベント施策を通じた集客施策を強化するとともに、社員へのデジタル教育を行いたいという企業のニーズに応えるため、法人向けの研修サービスの拡充、拡販に努めました。

この結果、本報告セグメントの売上高は109,405千円、セグメント利益は53,979千円となりました。

④ FCS事業

システムの受託開発を主に行っているFCS事業では、当社でITエンジニアチームを編成し顧客の要望に沿ったシステムの受託開発を行っております。当第1四半期累計期間におきましては、継続案件及び新規のWebサイトの作成に注力いたしました。

この結果、本報告セグメントの売上高は18,637千円、セグメント利益は10,500千円となりました。

⑤ その他事業

TechStarsサービスはITエンジニアに特化した転職支援サービスです。当第1四半期累計期間におきましては、人材紹介サービス事業者向けに提供されている有料の人材サービスに加え、自社の人材データベースの活用や事業部間の連携を強化したことにより、ITエンジニアの転職決定数に注力いたしました。

この結果、本報告セグメントの売上高は8,386千円、セグメント利益は1,062千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は1,062,828千円となり、前事業年度末に比べ19,381千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が52,095千円減少した一方で、売掛金が71,234千円増加したことによるものであります。固定資産は81,120千円となり、前事業年度末に比べて5,317千円減少いたしました。これは主にその他(長期未収入金)が15,659千円増加した一方で、繰延税金資産が4,563千円、貸倒引当金が13,821千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,151,144千円となり、前事業年度末に比べ13,366千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は474,321千円となり、前事業年度末に比べ7,619千円増加いたしました。これは主に未払消費税等が12,344千円、1年内返済予定の長期借入金が2,502千円減少した一方で、買掛金が12,144千円、未払金が8,490千円、預り金が1,902千円増加したことによるものであります。固定負債は148,987円となり、前事業年度末に比べ18,672千円減少いたしました。これは長期借入金の返済に伴い、残高が18,672千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は623,308千円となり、前事業年度末に比べ11,053千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は527,836千円となり、前事業年度末に比べ24,420千円増加いたしました。これは利益剰余金が24,420千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.6%（前事業年度末は44.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月15日付けの「決算短信」で公表しました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症が、当社の事業及び業績に与える影響は軽微です。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	585,302	533,207
売掛金	433,812	505,046
貯蔵品	301	462
前渡金	49	49
前払費用	25,549	24,769
その他	14,825	6,843
貸倒引当金	△16,392	△7,550
流動資産合計	1,043,447	1,062,828
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,357	9,357
減価償却累計額	△1,891	△2,053
建物(純額)	7,465	7,303
工具、器具及び備品	8,638	8,638
減価償却累計額	△4,343	△5,059
工具、器具及び備品(純額)	4,294	3,578
有形固定資産合計	11,759	10,882
無形固定資産		
ソフトウェア	371	9,740
ソフトウェア仮勘定	9,905	—
無形固定資産合計	10,276	9,740
投資その他の資産		
投資有価証券	10,001	10,001
破産更生債権等	2,030	2,030
長期前払費用	478	388
敷金及び保証金	41,113	40,024
繰延税金資産	12,806	8,243
その他	—	15,659
貸倒引当金	△2,030	△15,851
投資その他の資産合計	64,400	60,497
固定資産合計	86,437	81,120
繰延資産		
株式交付費	7,893	7,196
繰延資産合計	7,893	7,196
資産合計	1,137,778	1,151,144

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	217,621	229,766
1年内返済予定の長期借入金	79,668	77,166
未払金	105,962	114,453
未払費用	139	671
未払法人税等	16,532	16,386
未払消費税等	39,710	27,366
前受金	3,667	3,209
預り金	3,400	5,302
流動負債合計	466,702	474,321
固定負債		
長期借入金	167,659	148,987
固定負債合計	167,659	148,987
負債合計	634,361	623,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	128,718	128,718
資本剰余金		
資本準備金	128,618	128,618
資本剰余金合計	128,618	128,618
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	243,055	267,475
利益剰余金合計	243,055	267,475
株主資本合計	500,392	524,812
新株予約権	3,024	3,024
純資産合計	503,416	527,836
負債純資産合計	1,137,778	1,151,144

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)
売上高	909,107
売上原価	601,917
売上総利益	307,190
販売費及び一般管理費	264,881
営業利益	42,309
営業外収益	
受取利息	0
助成金収入	692
その他	239
営業外収益合計	931
営業外費用	
支払利息	530
株式交付費償却	696
その他	370
営業外費用合計	1,596
経常利益	41,644
税引前四半期純利益	41,644
法人税、住民税及び事業税	12,660
法人税等調整額	4,563
法人税等合計	17,224
四半期純利益	24,420

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	Midworks 事業	メディア 事業	tech boost 事業	FCS事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	698,679	73,998	109,405	18,637	900,721	8,386	909,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	698,679	73,998	109,405	18,637	900,721	8,386	909,107
セグメント利益	70,652	24,326	53,979	10,500	159,458	1,062	160,521

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、TechStars事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	159,458
「その他」の区分の利益	1,062
全社費用(注)	△118,211
四半期損益計算書の営業利益	42,309

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、2020年12月14日開催の取締役会において、株式会社Monkeyを完全子会社化することを決議し、2021年1月5日付で株式譲渡契約を締結いたしました。当該契約に基づき、2021年1月5日付で全株式を取得し、子会社化いたしました。

1. 株式取得の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業内容

被取得企業の名称 株式会社Monkey

事業内容 WEBメディアの運営

(2) 株式取得の理由

当社のメディア事業では、複数の情報発信メディアを運営し、広告収入の基礎となるPV（ページビュー）数を増加させ、閲覧者数の増加に注力するとともに、他社メディアの新規立上げやメディア運営の受託等のマーケティングコンサルティングを行うBtoBサービス「SAKAKU」の販促に努めてまいりました。

一方、株式会社Monkeyは、主として飲食・グルメ分野でWEBメディアを運営し、広告収益を獲得しており、創業以来その規模の拡大しております。

そうした両社の経営姿勢やノウハウは、親和性と相互補完性をともに有し、さらにはメディア事業の「SAKAKU」の拡販にも寄与することから、シナジー効果による双方の事業拡大が大いに期待できるものと考えて、同社株式を取得することといたしました。

(3) 取得した議決権比率

100%

2. 取得の対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	45,000千円
-------	----	----------

3. 主要な株式取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等	1,260千円
-------------------	---------

3. その他

該当事項はありません。